

7.31 白熱のビーチバレー

7月31日、夏の恒例イベント「きたろうカップビーチバレー大会」が新屋町海岸で開催されました。

大会は16回目の開催で、山陰両県の小学生から一般の大人まで600人を超える選手が参加し、夏真っ盛りで日差しが照りつける中、砂と汗にまみれながら、コートを動き回りました。

アニメキャラクターに仮装するチームもあり、会場を盛り上げました。



8.5 初優勝、全国大会出場

8月5日、第56回全国高等学校軟式野球選手権大会の東中国大会で初優勝し、鳥取県勢として30年ぶりに全国大会に出場を決めた、境高軟式野球部の渡部熙生主将と、柿原直紀監督ほか関係者の皆さんが市役所を訪問し、中村市長に出場報告をしました。

市長から激励を受けた渡部主将は、「大会では一戦一戦を大切に戦いたい」と力強く健闘を誓いました。

境高は北関東代表の強豪・作新学院（栃木県）と対戦。惜敗しましたが、大会の歴史に名を残しました。



8.6 日韓少年サッカー交流

境港市の少年サッカーチーム「FCアミーゴ」が、8月6日から12日まで、環日本海定期貨客船を利用し、ロシア・ウラジオストク市と韓国・東海市でサッカー交流を行いました。

今回の交流事業は、昨夏来境したウラジオストク市の少年サッカークラブから招待を受けての実施です。

少年たちの交流で、これからの環日本海地域の人的交流がますます推進され、友好関係が発展していくことでしょう。



8.8 夏はひんやり「マグロスープ」

8月8日、水木しげる記念館前で観光客にマグロ冷製スープが無料で振る舞われました。

市の水産関係者の有志でつくる「境港"旬の魚"を食べる会」が観光客へのおもてなしと旬の食材のPRを目的に実施し、開始してからすぐに列ができ、約30分で全400食がなくなりました。

スープはマグロの骨でだしを取り、具はマグロのつみれや白ネギ、そうめんなど。暑い中、ひんやりおいしく、塩分補給もでき、観光客に喜ばれました。